

あい 愛 & あい

- A I & A I -

FUKUOKA NURSING FEDERATION

福岡県看護連盟だより

令和5年5月20日発行

Vol.

91



日本看護連盟
シンボルマーク

会員数 (令和5年4月末現在)

7,258名

<http://www.fukukanren.jp/>

看護の未来に向かって 応援した統一地方選挙2023



(左上から右へ当選回数順)

当選された県議会議員の
皆様の活躍に期待!

CONTENTS

02. ご挨拶
03. 日本看護連盟新役員紹介
福岡県看護連盟通常総会のお知らせ
04. 令和4年度福岡県看護連盟事業報告
05. 令和4年度決算報告/
令和5年度予算(案)
06. 令和5年度福岡県看護連盟事業計画(案)
08. 看護職議員活動報告
10. 統一地方選挙結果/研修会報告
11. 青年部の窓
12. 私たちの支部
編集後記



衣装制作:
福岡県看護連盟

ご挨拶



福岡県看護連盟 会長
塚崎 恵子

統一地方選挙も終わり、新緑に風薫る季節となりました。樹々に青々とした葉が茂り、風にそよいでいる姿をみると何とも清々しくなります。

会員の皆様には、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素から看護連盟活動へのご理解とご協力を頂いておりますことに心から感謝申し上げます。

漸く、新型コロナウイルスも感染症法上5類と位置付けられ、各方面で三年ぶりの平常生活が戻りつつあります。コロナ禍での自粛生活を通して、健康で平和な暮らしがいかにかげがえのないものであるかを社会全体が痛感しているところではないでしょうか。

さて、福岡県では、人生100年時代のあらたな政策としてOne Health(ワンヘルス)の考え方が広がっております。医学・獣医学の横断的な連携(ワンヘルス・アプローチ)を推進し、動物由来感染症の予防・探知・治療等の対策強化を図るための条例が制定されました。ヒトと地球にやさしいこの政策の流れは、世界中へ波及する兆しが見えております。このように社会基盤の整備が進められる中、看護はどうあるべきか、新しい未来への扉を自分たちの手で開かねばなりません。益々の政治活動が重要になってきます。

「年年歳歳、花相似たり 歳歳年年、人同じからず」...

最大限の注意を払いながら前向きの姿勢で、看護連盟の活動を推進して参りましょう。私達は一丸となって、看護職の代表を国政の場へと送り出さねばなりません。

看護協会の政策提言を“制度化し、財源をつけていく”そのことができるのは、看護を代表する国会議員の先生方の力によるところが大きいと考えます。

福岡県看護連盟と福岡県看護協会は、互いにその組織力と底力をもってしっかり協力し合い、連携して参る所存でございます。

日常の政治活動を行うことは、憲法で保障された権利であり、本来自由なもので何ら制限されるものではありません。キラリと光り輝く看護の未来を創るために、政治を変えていきましょう。何卒よろしく願い申し上げます。

*尚、看護職がその実力を如何なく発揮するための連盟活動につきましては、忌憚のないご意見をお聞かせくだされば幸いです。

おめでとうございます。

令和5年度福岡県看護連盟会長表彰

井上由美子	一般財団法人医療・介護・教育研究財団 柳川病院
菰田真子	社会医療法人水光会 宗像水光会総合病院
里田佳代子	一般財団法人平成紫川会 小倉記念病院
姉川礼子	久留米大学医療センター
野田佐代美	株式会社麻生 飯塚病院

川畑浩子	株式会社麻生 飯塚病院
大野千代美	社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院
黒田祥子	個人会員
今村朋子	宗像医師会病院
浅尾典彦	原土井病院

第90回自由民主党定期党大会表彰

本部推薦 塚崎 恵子 日本看護連盟幹事
県連推薦

満野裕子	医療法人愛風会 さく病院
平田雅彦	一般財団法人平成紫川会 小倉記念病院
佐々木和子	製鉄記念八幡看護専門学校
櫻木りゑ	社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院
草野圭子	社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院

令和5年度自民党県連大会表彰

優秀党組織 株式会社麻生 飯塚病院
優秀党員

石飛妙子	社会医療法人共愛会 戸畑共立病院
高倉千津子	社会医療法人共愛会 戸畑共立病院
荒巻和代	社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院
野上知子	社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院
島崎聡子	一般財団法人平成紫川会 小倉記念病院

(順不同・敬称略)

～新たにスタートした日本看護連盟の役員紹介～

福岡県看護連盟会員の皆様には、日本看護連盟の事業にご理解とご支援・ご協力を賜り感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の収束をみないまま2023年が幕を開けました。医療や介護、地域の様々な場所で新型コロナ感染症と闘っている会員の皆様に、心から感謝と敬意を表します。

感染が長期化する中、看護職の安全が確保され、安心して役割を發揮できるよう日本看護協会と連携し、コロナ禍における課題解決に向け国へ働きかけて参ります。

診療報酬による「看護職員処遇改善評価料」の新設、「国家公務員医療職俸給表(三)」が改正され、厚生労働省より全国の医療機関に通知が出たところです。今回の改正は、看護職の専門性と役割の重要性に見合う賃金体系への第一歩となりました。このことは看護系議員、看護連盟と看護協会が協力・連携し一丸となり勝ち取った賜物と言えます。

看護職がその専門性を發揮し、やりがいを感じながら人々の健康の維持・増進に貢献するためには、それを保証し推進する政策の策定と、それを実現するための政治的な戦略が必要となります。政治の力は、行政の迅速な対応を促します。「現場の声」を届ける私たち組織の声こそが、政治を動かす原動力となります。日本看護連盟と日本看護協会の連携はもとより、各都道府県においても看護連盟と看護協会が連携し、それぞれの地域で政治力を遺憾なく發揮することが重要になって参ります。

社会の期待に応え、全国の看護職がその力を一層發揮できるよう支援していくこと、これが私たちの役割です。今後も看護の力を集結し、看護政策の実現を目指してまいります！



日本看護連盟 会長
高原 静子



日本看護連盟
副会長

富田 きよ子

令和元年8月1日より日本看護連盟副会長に就任しております。専門職として国民の医療と福祉に貢献できるように看護職の処遇・就労環境の改善を目指した活動に取り組んでいきます、引き続きよろしくお願いたします。



日本看護連盟
副会長

小阪 佳代

この度、日本看護連盟の副会長に就任いたしました。日本看護連盟の存在意義を内外にお示しできるよう力を尽くしてまいります。会員皆様のご指導とお力添え、どうぞよろしくお願いたします。

令和5年度

福岡県看護連盟通常総会開催のお知らせ

日時 令和5年7月2日(日) 13:30～16:00

場所 福岡リーセントホテル 2階「舞鶴の間」 〒812-0053 福岡市東区箱崎2-52-1

プログラム

13:00 開場
13:20 オリエンテーション
13:30 開会

物故者会員への黙とう
会長挨拶
来賓祝辞
来賓紹介
祝電披露

14:45 福岡県看護連盟会長表彰
15:00 議長団・議事録署名人選出

報告事項

1. 令和5年度日本看護連盟通常総会報告
2. 令和4年度福岡県看護連盟通常総会報告
3. 令和4年度日本看護連盟主催会議報告

4. 令和4年度福岡県看護連盟主催会議報告
5. 令和4年度福岡県看護連盟並びに支部事業報告
6. 令和4年度決算報告
7. 令和4年度監査報告

審議事項

- 第一号議案 令和5年度スローガン(案)
- 第二号議案 令和5年度福岡県看護連盟並びに支部事業計画(案)
- 第三号議案 令和5年度予算(案)
- 第四号議案 福岡県看護連盟細則の改正(案)
- 第五号議案 令和5年度役員選出(案)

退任・新任役員挨拶

綱領宣言
連盟歌斉唱

16:00 閉会



令和4年度

福岡県看護連盟事業実施報告

幹事長 前田三枝子

1. 政治力・政策実現力の強化

目標1. 看護職国会議員の選出・支援

- 第26回参議院議員選挙における組織内候補者の当選
友納理緒氏が174,335票を獲得し、自民党内順位11位で当選した。福岡県では後援会入会者17,601人(親会員4,564、子会員13,037)を集め、4,163票を獲得した。当県の投票率は48.76%で、全国52.05%を下回ったが、第25回参議院選挙時の42.85%に比し5.19%増加した。県の得票目標数は一万票であったが、連盟会員数の50%の得票数にとどまった。
- 看護職国会議員の支持と活動周知
機関誌各号に看護職国会議員の活動を掲載し会員に知らせた。高階衆議院議員の「今週のひとこと」は毎週更新でHPに掲載した。高階議員後援会入会者登録に協力した。あべ俊子衆議院議員と電話による情報交換を数回行った。
- 公職選挙法の遵守
選挙違反無し。不明な事例は、公職選挙管理委員会に問い合わせ、公職選挙法を遵守した。日本看護連盟主催の公職選挙法の学習会にオンラインで参加、青年部委員は参議院選挙前に同研修会のDVDを視聴した。
- 組織代表議員活動の共有
都道府県看護連盟会長・副会長・幹事長・支部長合同会議、ブロック別看護政策セミナー、青年部活性化委員会、広報委員会に参加し、現職国会議員の活動報告を受け、意見交換を行った。

目標2. 看護政策の実現

- 県連盟の政策実現力の強化
福岡県看護問題対策議員連盟の新しい組織づくりは引き続き賛同する議員と調整中である。
- 現場の声の把握
新型コロナウイルス感染症患者対応の施設や事業所からの要望を受け、県議団に「現場の困った声」を提出した。国や県から配布された感染対策グッズの未使用(サイズアウト等の役立たず分)に関する苦情を県議、行政の担当課に届け、速やかな処理につながった。
- 医療系・看護系団体との連携
令和3年に締結した福岡県鍼灸マッサージ師連盟会員施設における施術割引案内を3ヶ月間HPのお知らせ欄トップに掲載し、会員への周知を図った。「福岡県医療機関等物価高騰対策支援金」の申請状況について助産師協会(開業助産所)と訪問看護事業所に連絡、情報交換を行った。
- 看護教育機関との連携
新型コロナ感染症拡大防止のため教育機関への訪問は出来なかった。看護学校に期日前投票推進のポスター掲示を依頼し、選挙リーフレットなどを配布した。
- 新型コロナウイルス感染症対策の政策推進
新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの2類から5類への移行予定を受けて、各医療機関・施設が抱えている不安や課題を国会議員や県議に伝え、十分な事前情報の提供を求めた。

目標3. 看護を理解する国会議員の確保と支援

- 県選出の国会議員との連携強化
政治活動報告会等に県役員、支部役員らが計16回、延べ44人が出席した。第26回参議院選挙福岡選挙区候補者大家敬志氏の選対委員女性局長に塚崎会長が就任し、各地区支部会員へ選挙応援を指揮した。街頭演説などにて延べ252人が応援参加し、568,217票のトップ当選に貢献した。福岡3区古賀篤議員とコロナ禍で疲弊している医療現場の状況について複数回情報交換を行った。福岡1区上貴博議員と「看護師等国家試験における受験機会の確保を求める意見書」について意見を交換した。

目標4. 地方議会、地方行政との連携強化

- 地方議員との情報交換と活動支援
8月4日(木)福岡県知事に令和5年度福岡県の政策・予算に関する要望書を県看護協会が提出した。連盟会長と幹事長が同席した。連盟は保健師教育大学院設置推進の二回再調査と助産師活用事業推進の助成金確保等について自民党県議団に申し入れた。アンケートの再調査に向けて、医師・看護職員確保対策室の担当者らと看護大学教員らとを交えて、保健師免許取得に関わる意向調査票を検討した。進捗状況についての情報交換を計6回行った。
- 地方行政議会、行政との情報交換
服部誠太郎県知事の政経文化セミナーに4回、延べ15名の役員が参加した。11月8日に県知事を表敬訪問し、「福岡県医療機関等物価高騰対策支援金」等医療職への迅速な対応にお礼を述べ、コロナ禍での現場の状況を報告し、意見交換した。県が推進する「福岡県「One Health」国際フォーラム2022+FAVA」(11月12日)に編集委員ら計8名が参加し、機関誌90号でファンヘルスの国際フォーラム及び県民講座の様子を報告した。県保健医療局からは衛生材料、マスク等の確保・配布状況を、市保健医療局からは感染症の発生状況に関する資料を毎週FAXで入手した。

目標5. 地方議員の擁立と支援

- 地方議員候補者の発掘と育成
県議・市議候補者の発掘は出来なかったが、保健師職の野口久美子氏が北九州市遠賀町議会議員に立候補すると情報が入り推薦状と薦書を送り応援体制を整えた。
- 地方議員との連携強化
第27代福岡県議会議長就任祝賀会(9/28)、第23代北九州市議会議長就任祝賀会(11/26)に会長他県役員3名が出席した。福岡市長選挙(11/6告示、11/20投票)および北九州市長選挙(1/29告示、2/5投票)の応援活動を行った。福岡地区及び北九州地区の役員・支部長・幹事長延べ80人(福岡7人、北九州73人)が協力した。看護職の秋尾八女市議、腎臓科川市議の活動報告を機関誌に3回掲載した。2023年統一地方選挙において、自民党公認・推薦の県議議員、市議会議員等候補者48名に推薦状を出し、該当地区会員へ選挙応援を頑張った結果、自民党候補者40名が当選した。政策活動報告会等に会長はじめ県役員・支部役員らが25回、延べ88人が出席し支援した。

2. 組織力の強化・拡大

目標1. 看護連盟・看護協会との連携・協働のさらなる推進

- 福岡県看護連盟と福岡県看護協会との連携強化
福岡看護政策懇話会が4回(ハイブリッド会議3回)開催され、8月4日(木)県に要望書を提出した。協会理事の連盟入会者数は22人中18人で、加入率81.8%であった。福岡県看護協会の連盟入会率は18%と、昨年度より1ポイント下がった。

目標2. 広報活動の強化充実

- 会員に向けた広報活動の充実・強化
日本看護連盟の会員ハンドブック、入会案内、議員ファイル等を入会時並びに基礎研修、支部研修時に配布した。機関誌あひらいを3回(88号、89号、90号)、各9,000部発行した。90号発行後に一部誤植が判明したので、謝辞と共に、直ちに修正版を作成し再送付した。基礎研修については、日本看護連盟作成分資料を青年部委員会に音声ナレーション付きの福岡県版に更新した。DVDに加工して各支部に配布し、活用を促した。広報委員会において6~8月の3か月間、第2回目の会員アンケートを実施し、会員が期待しているHPの記事を調査した。連盟会員241、非会員17、計258人から回答を得た。回答者には抽選で50名に500円のクオカードを進呈した。アクセス数は7月に1,143件と上昇したが、その後は例年通りの200~300件止まりで、視聴数の伸びは未だみられていない。
- インターネットを活用した有効な情報発信
機関誌あひらいを3回発行すると同時にHP上に掲載した。令和4年度通常総会来賓の麻生太郎副総理兼財務大臣によるビデオメッセージのビデオメッセージを各支部に配布し、支部会議・研修会等でも活用した。
- 選挙活動に有効なインターネット広報ソールの活用

統一地方選挙において連盟が応援する候補者らの動画を4地区役員LINEでタイムリーに流し、会員に拡散した。

目標3. 看護連盟の活動の強化及び周知の徹底

- 日本看護連盟・都道府県看護連盟との情報共有化
中央役員会、会長会、執行部の情報などを総合役員会で伝達し、連盟活動の透明性を図った。10月31日、県別会議において4地区の特性を踏まえた第26回参議院議員選挙の総括を発表し、課題解決への対策を討議した。
- 自立した会員の育成を目指した研修の推進
12支部において基礎研修が開催され、延30回、733人の修了者があった。5支部で集合又はオンラインによる支部研修会が開催され、延200名の参加があった。

目標4. 会員の確保対策

- 2022年度末の会員数は7,753人で会員数の減少に歯止めが効かなかった。未加入者の多い施設の看護管理者との交流や、定年退職者、産休・育休者に連盟会員継続への働きかけは組織だて出来なかった。OB会の組織化や地区活動の見える化、看護学生対象のフォーラムは実施できなかった。看護大学・看護専門学校教員は129人と微増したが、学生会員数は3人と減少した。県連盟の規約に則った賛助会員は4人であった。

目標5. 福岡県看護連盟の効率的な組織運営

- 日本看護連盟及び福岡県看護連盟の規約等に基づいた効率的な運営
新任支部役員研修会を開催し10名が参加した。三役会11回、県役員会5回、総合役員会6回を開催した。広報委員会6回、青年部委員会6回開催した。OB会、地区別支部長会、リーダー研修会は開催できなかった。
- 財政等の健全化と適正化
予算に基づき執行した。4月26日と10月19日に支部会計、県連盟会計、自民党職域支部会計監査を実施した。

目標6. ブロック協議会への協力

- ブロック協議会の活動に積極的に参加する
九州地区ブロック協議会が6回開催され、第26回参議院選挙の進捗状況報告、中央役員会報告、協議会主催研修会運営についての協議等が行われた。9月20日(火)JR博多シティ会議室で、ハイブリッド形式による九州ブロック協議会看護連盟会長・副会長・幹事長・青年部研修会が開催された。九州8県の第26回参議院選挙の結果と取り組みについて報告・討議した。福岡からは11名(県役員7、青年部委員4)が参加した。同日予定されていた前衆議院議員木村やよい氏による講演会は急遽講師の都合により中止となった。11月17日(木)~18日(金)ホテル日航大分オアシスタワーで九州ブロック看護管理者等セミナーが開催され、県連盟役員6名と看護管理者1名、県看護協会会長と専務理事(各1日参加)の計9名が参加した。第26回参議院議員選挙の看護協会と連盟との連携・協力体制について報告し、第27回参議院議員選挙対策へ向けての課題と対策を議論した。

目標7. 支部組織の活動の強化・促進

- 県役員役職の明確化と徹底
会長、副会長、幹事長、監事の役割を県連盟役員職務分掌表一覧にしている。時流に合わせて文言の整理が必要である。
- 支部役員役職の明確化と徹底
11月18日、筑後1-5支部で自民党福岡県第5選挙区支部長栗原沙氏を講師に招き、支部研修会を開催した。「医療介護の現場体験後の意見交換会」と題し、講師と共に施設見学会を行い、介護や医療現場の現状を把握し、行政と現場で起こっている問題点を共有し、政策につなぐ過程を学んだ。
- 支部役員・リーダーの意識強化
施設支部における対面開催は困難であった。インターネットやSNSラインを活用して役員会を開催し、情報交換した。
- 地区別支部長会、リーダー研修会は開催出来なかった。
- 会員のモチベーション強化
広報委員会によるHPに関するアンケートの結果、興味のある分野はどの年代もトップ3は旅行、グルメ、温泉で、知りたい情報は1位が連盟活動、2位が法律関係、3位が看護全般であった。見たい企画は「今さら聞けない政治の仕組み」「コソバのいいご飯紹介」「国際情勢」であった。11月より「私のイチオシ」をHPにアップした。記事募集のチラシを作成し支部にメール配信した。

目標8. 若手会員の育成

- 青年部委員会の活動強化
令和4年度も日本看護連盟青年部広報委員に桑原支部幹事長が就任した。青年部委員長酒井裕子委員長が日本看護連盟青年部活性化委員会に(1回/1か月)参加した。5月24日開催の全国青年部代表者会議にこの2人が参加、全国ポリナビワークショップに青年部委員5人が参加した。青年部ブロックミーティングが8月6日、12月3日、2月19日の3回オンラインで開催され、当県から延べ15人が参加した。九州ブロック協議会看護連盟会長・副会長・幹事長・青年部研修会に青年部委員5人が参加した。1月19日、自民党青年局との意見交換会に酒井委員長が出席参加した。第10回ポリナビワークショップ福岡を2月11日(土)に開催した。講演Iは眞秀、大迫青年部幹事による基礎研修を行い、講演IIでは「認定看護師が教えます!口腔ケア・嚥下性肺炎予防」と題して中村将隆氏が講演を行った。ハイブリッド形式で行われたが、会場一般参加者6名、関係者19名、リモート参加者52名、計77名の参加があった。
- 政党の学生会員や青年部との交流
5月18日開催された一般社団法人福岡青年会議所主催の安倍晋三元首相の講演会「安倍晋三が目指したもの〜今後の日本〜」に5名が参加した。

目標9. 関係団体・関係組織との連携・強化

- 医療関係団体と情報を共有・関係構築
福岡県ファンヘルズ協議会発信のメルマガを毎月まとめ各支部長へ配信した。11月11日、ヒルソ福岡シーホークで開催された第40回日本獣医師会獣医学学会年次大会・第21回アジア獣医師会連合(FAVA)大会に会長と広報委員が参加した。大会開催やFAVA日本事務局設置の趣旨に賛同し県連盟から寄付を行った。
- 支援団体・企業との交流
医療関係団体・支援団体・支援企業との交流は出来なかった。
- 自民党県連職域支部としての役割の自覚
令和4年度自民党本部大会表彰で中ノ森知子、中島成子、久富瑞穂の3名が受賞した。5月7日(土)自民党福岡県支部連合会年次大会において、優秀党組織に製鉄記念八幡病院が、優秀党員に石石千鶴子、馬場千草、神代明美、小海幸恵、磯崎草子、横田美保、宮田智子の7名が表彰された。

3. 会員の福祉の充実

目標1. 災害への対応

- 12月29日、1名の会員に家屋全焼の被害があったのでお見舞い金を送った。

目標2. 福利厚生への対応

- 令和4年度の通常総会において福岡県看護連盟会長表彰を行い、濱木保子、林ゆかり、満野裕子、待鳥祐子、益永愛、古賀綾、井上聖、古賀明弘、藤瀬芳子の9名に賞状と記念品を贈呈した。物故者は5名で、日本看護連盟及び福岡県看護連盟より弔意をあらわした。

目標3. 諸問題への対応

- 会員の安全の保証
政治活動等に関する疑問や不確かさは、速やかに本部に相談し、自民党コンプライアンス室及び法曹弁護士に確認をとって適切な、安全な活動につなげた。

(詳細は令和5年度福岡県看護連盟通常総会要綱に記載)

令和4年度 決算報告

自 令和 4年4月 1日
至 令和 5年3月31日
単 位：円

(収入の部)

項 目	令和4年度予算額	令和4年度決算額	差 異	備 考
I 会 費	18,753,000	19,319,878	▽ (566,878)	会費(7753名・OB・賛助会費(3名) 振込手数料を控除額
II 本部助成金	15,000,000	20,371,821	▽ (5,371,821)	会費還元金・運営費助成金 等
III 研修会費	0	0	0	研修会参加費
IV 預金利息	200	296	▽ (96)	預金利息
V 寄 付 金	0	0	0	
VI 雑 収 入	10,000	106,329	▽ (96,329)	幹旋手数料等
前年度繰越金	22,368,894	22,368,894	0	
総 計	56,132,094	62,167,218	▽ (6,035,124)	

(支出の部)

項 目	令和4年度予算額	令和4年度決算額	差 異	備 考
I 会 議 諸 費	4,900,000	3,653,481	1,246,519	
総 会 費	2,300,000	1,753,126	546,874	総会関係諸費
支 部 長 会 費	1,000,000	732,431	267,569	総合役員会 地区支部長会 他
役 員 会 費	500,000	396,250	103,750	三役会 県役員会
委 員 会 費	1,100,000	771,674	328,326	委員会(広報・青年部) 看護政策懇話会
II 事 業 費	29,500,000	16,519,756	12,980,244	
組 織 活 動 費	7,000,000	5,058,236	1,941,764	組織内活動費・監査関係費・OB会 他
組 織 対 策 費	8,000,000	4,501,006	3,498,994	本部会議・九州ブロック会議等
教 育 費	1,000,000	321,381	678,619	研修会講師謝金 研修会資料作成費 他
渉 外 費	4,000,000	3,195,847	804,153	慶弔費 各級議員会合・セミナー等会費 出席費 他
支 部 交 付 金	7,000,000	1,595,286	5,404,714	各支部活動費(会議 研修会 他)
機 関 誌 発 行 費	2,500,000	1,848,000	652,000	福岡県看護連盟だより:あいあい(年3回) 60周年記念誌
III 維 持 運 営 費	20,000,000	16,951,697	3,048,303	
人 件 費	12,000,000	11,319,346	680,654	職員給与・役員手当、社会保険料 他
需 給 費	8,000,000	5,632,351	2,367,649	事務所諸費 備品消耗品費 光熱水費 等
IV 予 備 費	1,732,094	0	1,732,094	
総 計	56,132,094	37,124,934	19,007,160	

令和5年度 予算(案)

自 令和 5年4月 1日
至 令和 6年3月31日
単 位：円

(収入の部)

項 目	令和5年度予算額(案)	備 考	令和4年度予算額	令和4年度決算額
I 会 費	18,750,000	正会員7,500人	18,753,000	19,319,878
II 本部助成金	15,000,000	会費還元金 本部会議出席費 等	15,000,000	20,371,821
III 研修会費	0	研修会参加費	0	0
IV 預金利息	200		200	296
V 寄 付 金	0		0	0
VI 雑 収 入	10,000	販売協力金 等	10,000	106,329
前年度繰越金	25,042,284		22,368,894	22,368,894
総 計	58,802,484		56,132,094	62,167,218

(支出の部)

項 目	令和5年度予算額(案)	備 考	令和4年度予算額	令和4年度決算額
I 会 議 諸 費	4,900,000		4,900,000	3,653,481
総 会 費	2,300,000	総会関係諸費	2,300,000	1,753,126
支 部 長 会 費	1,000,000	総合役員会関係費	1,000,000	732,431
役 員 会 費	500,000	三役会 県役員会	500,000	396,250
委 員 会 費	1,100,000	委員会(広報・青年部) 看護政策懇話会	1,100,000	771,674
II 事 業 費	31,500,000		29,500,000	16,519,756
組 織 活 動 費	7,000,000	組織内活動費・OB会・青年部活動費 他	7,000,000	5,058,236
組 織 対 策 費	9,000,000	本部総会・会議・政策集会(交流会) 施設訪問 九州ブロック(管理者研修会・青年部) 他	8,000,000	4,501,006
教 育 費	1,000,000	県・支部研修会講師謝金 他	1,000,000	321,381
渉 外 費	4,000,000	慶弔費 各級議員会合・セミナー等会費 出席費 他	4,000,000	3,195,847
支 部 交 付 金	7,000,000	支部活動費(会議 研修会 他)	7,000,000	1,595,286
機 関 誌 発 行 費	2,500,000	福岡県看護連盟だより:あいあい(年3回)	2,500,000	1,848,000
寄 付 金	1,000,000		0	0
III 維 持 運 営 費	22,000,000		20,000,000	16,951,697
人 件 費	14,000,000	職員給与 社会保険料 他(退職金積立金を含む)	12,000,000	11,319,346
需 給 費	8,000,000	事務所諸費 備品・消耗品費 光熱水費	8,000,000	5,632,351
IV 予 備 費	402,484		1,732,094	0
総 計	58,802,484		56,132,094	37,124,934

令和5年度

福岡県看護連盟 事業計画(案)

目的	目 標	方 針	
政治力・政策実現力の強化	1. 看護職国会議員の選出・支援	1) 第27回参議院議員選挙における組織内候補者の決定 2) 看護職国会議員の支持と活動周知 3) 公職選挙法の遵守	1) -1 第27回参議院議員選挙で、組織代表 -2 第26回参議院議員選挙結果から抽出 2) -1 看護職国会議員の知名度向上及び活動 -2 機関誌(あい & あい)に看護職議員 -3 ホームページ、インターネット、SNS -4 研修会等の講師として、看護職国会議員 3) -1 選挙運動リーダー(支部長)研修等を -2 選挙実践の手引きを分りやすく工夫し -3 会員・非会員を問わず看護管理者を対
	2. 看護政策の実現	1) 日本看護連盟、県看護連盟の政策実現力の強化 2) 現場の声の把握と改善 3) 医療・介護系団体及び行政との連携 4) 看護教育機関との連携 5) 新型コロナウイルス感染症対策の政策推進	1) -1 看護協会の重点施策の実現に向けて -2 自民党厚生労働部会等の委員の動きを -3 11月16日(木)～17日(金)、佐賀 9月1日、福岡県で開催予定の県別会 2) -1 Lineに開設される「現場の声」の入 -2 「現場の声」の調査分析から、政策提 -3 政策提言内容及び制度改革状況は、タ 3) -1 看護政策及び現場の課題等に関する情 4) -1 看護教育機関に「看護と政策」に関す -2 看護学生の投票行動を促す依頼をする 5) -1 感染対策に関する現場の課題を日本看 -2 県看護協会と協力し、地方議会・地方 -3 コロナ対策支援については、必要に
	3. 看護を理解する国会議員の確保と支援	1) 県選出の国会議員との連携強化	1) -1 県選出国会議員の政策フォーラム、医 2) -1 県看護連盟と国会議員との交流の場を 5月20日(土)看護職参議院議員を講 -2 県看護連盟が支援している国会議員に -3 県の看護政策に理解を示す国会議員を
	4. 地方議会、地方行政への影響力の強化	1) 地方議員との情報交換と活動支援 2) 福岡県看護問題対策議員連盟(仮称)の再構築 3) 地方議会、行政等との情報交換	1) -1 地方議員との交流の場を設け、連盟へ -2 福岡県看護問題対策議員連盟(仮称) 2) -1 福岡県保健医療介護医療指導課「医 -2 意向調査の結果を踏まえ、福岡県にお -3 地方議員の活動を支援する。
	5. 地方議員の擁立と支援	1) 地方議員候補者の発掘と育成 2) 地方議員との連携強化	1) -1 県議、市(町)議への看護職の立候補 -2 県、自民党県連が実施している若手育 2) -1 統一地方選挙において、看護職を応援 推薦状の発行、候補者の後援会名簿集
組織力の強化・拡大	1. 看護連盟の効率的な組織運営	1) 福岡県看護連盟の規約等に基づいた効率的な運営 2) 福岡県看護連盟支部の効率的な運営 3) 財政等の健全化と適正化	1) -1 内部ガバナンス及びコンプライアンス 2) -1 福岡県看護連盟規約、細則、申し合わせ -2 福岡県看護連盟支部規約を見直し、支 -3 県役員の職務分掌の整備と役割分担を -4 諸会議(通常総会、三役会、県役員会 3) -1 費用対効果を会議費、事業費、政治活
	2. 看護連盟と看護協会との連携・協働の推進	1) 県看護連盟と県看護協会との連携強化	1) -1 10月19日(木)～20日(金)、沖 活動内容の情報共有と選挙運動、会員 -2 県看護協会総会・看護連盟総会に協 -3 11月16日(木)～17日(金)、佐賀
	3. 会員の確保対策	1) 2023年度の会員目標数の設定と目標管理 2) 看護連盟入会の促進、退会者の防止 3) 若者層・学生会員の確保 4) O B会支部、O B会の活性化 5) 会費課金システム導入の検討	1) -1 都道府県別会議において「会員確保」 -2 会員数8,600人を確保する。(2023 -3 「各支部における会員増員の目標値と -4 政策セミナー等への参加を案内し、未 2) -1 県看護協会役員の連盟加入を促進する -2 県看護協会員の連盟加入率を20%に -3 国公立病院や看護系大学等の会員増 -4 医療機関以外の施設へ働き、看護職 -5 定年退職者、産休、育休者、中途採用 -6 企業、医療関連専門職者等の賛助会 -7 看護大学、看護専門学校教員への入会 3) -1 看護基礎教育の教育内容に「看護政策 -2 連盟役員等が講演や講義の機会に、看 -3 実習施設や研修施設において看護学生 -4 青年部委員会が看護学生を対象とした 4) -1 福岡県看護連盟OB会の組織化を検討 -2 支部が協力し合いながら地区ごとに交 5) -1 会員確保における効果的な会費納入方
	4. 社会変化に即応するためのDXの推進	1) 業務効率化や災害等の不測の事態に備えるデジタルインフラ基盤の確立 2) 各種会議及び研修事業における安定的なオンライン運用 3) SNS及びデジタルを活用した効率的な活動の推進	1) -1 日本看護連盟と県看護連盟のデータ共 -2 日本看護連盟が主催するクラウド導入 2) -1 ZOOMプロライセンス契約を継続し -2 ハイブリッド形式の研修会や常設委員 3) -1 広報委員会を中心に青年部委員を交
	5. 看護連盟の活動の強化及び周知徹底	1) 日本看護連盟・都道府県看護連盟との情報共有化 2) 自律した会員の育成を目指した研修の推進	1) -1 会長会及び中央役員会、各種委員会、 -2 都道府県別会議に参加し、県の特性を 2) -1 未入会者及び連盟会員に対し連盟活動 -2 オンラインツールの活用を推進し、効 -3 青年部作成の基礎研修資料福岡版を新
	6. 若手会員の育成	1) 若手会員の活性化の促進 2) 青年部委員会活動の促進	1) -1 全国青年部代表者ミーティングに参加 -2 九州ブロック協議会開催の会議・研修 -3 青年部委員長は総合役員会に出席し、 2) -1 第11回コロナピクニック研修会 -2 県議会、市議会等の見学を通し、政策 -3 青年部が刷新した基礎研修資料を活用 -4 看護学生が看護政策を身近に感じるよ -5 2023年度の学生会員目標を10人と -6 情報共有ツールの活用を促進し、プロ -7 自民党が実施する青年部研修会等に移
	7. 広報活動の強化充実	1) 会員に向けた広報活動の充実・強化 2) インターネットを活用した有効な情報発信	1) -1 機関誌あいあいを3回/年発行する。 -2 機関誌編集委員会を結成し、機関誌の -3 広報委員会を6回/年開催し、活動の方 -4 福岡県看護連盟 HP の更新頻度を増し -5 HP の閲覧を促す工夫として「私のイ 2) -1 諸研修会、諸集会で看護職国会議員の -2 国政報告会の開催、Web アンフィニ -3 各級の議会見学を行い、政策決定過程
	8. 支部組織の活動の強化・促進	1) 支部組織の強化及び支部役員・リーダーの強化 2) 各支部会員のモチベーション強化	1) -1 都道府県別会議に参加し、第27回参 -2 支部運営マニュアルの整備を行い、支 -3 総合役員会を隔月(6回/年)に行う。 -4 地区別支部長会を開催する。(1回/年) -5 リーダー研修会を行う。(1回/年) 2) -1 県、支部において各級議員によるミニ -2 新型コロナウイルス感染症の終息が得られたら
	9. ブロック協議会の活動強化・促進	1) ブロック協議会の活性化	1) -1 ブロック協議会へ参加し、活発な情報 -2 ブロック協議会内の幹事長会議に参加
	10. 関係団体・関係組織との連携・強化	1) 看護協会以外の関係団体との交流促進	1) -1 医療関係団体との交流の機会をつくる -2 支援団体・支援企業との交流の機会を -3 支援団体・支援企業所属の関係者に賛 -4 福岡県鍼灸マッサージ師連盟との提携
会員の福祉の充実	1. 災害への対応	1) 災害発生地への支援	1) -1 災害時の情報発信をする。 -2 情報収集をタイムリーに行い、本部に -3 災害見舞い支援金等の申請手続きを速
	2. 福利厚生への対応	1) 日本看護連盟及び福岡県看護連盟内規に基づく対応	1) -1 福岡県看護連盟会長等の表彰を行う。 -2 日本看護連盟名誉会員・叙勲等受賞者 -3 物故者への対応を行う。 -4 慶弔等への対応を行う。
	3. 諸問題への対応	1) 会員の安全の保証	1) -1 コンプライアンスに基づく政治活動、 -2 諸級の疑問や問題発生の際は、速やか

重点方針

1. 見える活動 2. 行動する会員 3. 確かな組織づくり

活 動	評価指標
<p>候補者を高得票で当選するための知名度向上と活動状況を各支部に周知する。 した課題の改善策を具体的戦略として周知する。 状況を周知する。 の活動報告を掲載する。 S等を活用し、看護職議員の活動を周知する。 員を招聘する。 再検討し、主体的に選挙運動ができる組織員を育成する。 て活用し、選挙におけるコンプライアンス学習で安全な活動を実施する。 案に教育研修を企画して、正しい選挙運動への理解を深める。</p>	<p>1) ・第27回参議院議員選挙候補予定者の決定 ・次期参議院選挙の課題改善の策定及び周知状況 2) ・機関誌(年3回)、HP掲載 ・研修会等の開催及びアンケート調査の結果 3) ・研修会の開催 ・研修会開催時の会員アンケートの結果、研修回数と受講者数 ・非会員の研修会参加者状況</p>
<p>政策セミナー等を活用し情報共有を図る。 員役員・支部長に伝達、周知徹底を図る。 開催のブロック別看護管理者等政策セミナー、 議に青年部委員の参加を拡大し、政策提言力の強化を図る。 窓口に会員に周知し、Web 調査に協力する。 言につなく具体的な根拠を明確にする。 タイムリーにHP、機関誌等で会員に周知する。 報を医療系・介護系団体に提供する。 る講座開設の必要性をアピールする。 。看護連盟と関係国会議員等で情報共有する。 行政へ要望活動ができるよう情報を共有する。 して自民党県議団に要望する。</p>	<p>1) ・セミナーへの参加状況 2) ・広報媒体活用件数の把握 ・要望件数と要望書の提出 3) ・各団体、行政との会合件数 4) ・看護教育機関との連携、情報交換 ・ポスターの学内掲示「選挙に行こう」他 5) ・政策懇話会実績 ・コロナ対策の現場への還元状況</p>
<p>政報告会等に参加し、連携を図る。 持つ。 節に迎えリーダー研修会を開催する。9月16日(土)衆議院議員を講師に迎え会員研修会を開催する。 看護政策の必要性の理解を図る。 支援する体制を強化する。</p>	<p>1) ・職域活動実績 ・参加回数、参加人数の報告 2) ・交流の場を持ったか ・県通常総会出席者数</p>
<p>の理解を深める。10月6日(金)福岡県議会議員を講師に迎え会員研修会を開催する。 の再構築に向けて議員に働きかける。 師「看護職員確保対策室」が実施予定の、福岡県における保健師免許取得に関わる意向調査の再調査に協力する。 ける保健師教育大学院化の要望を継続・強化する。</p>	<p>1) ・看護政策の担当議員との交流 2) ・要請立案の協働、提出件数、進捗状況の把握 3) ・要望の提出 ・看護を応援する県議、市議、首長当選の把握</p>
<p>者の発掘と人材育成の支援を行う。 成プログラム等に、積極的に参加できるようにHP等の媒体を駆使し情報提供する。 する候補者の選挙活動を応援する。 め、政策講演会・決り集、街頭演説等への協力と参加</p>	<p>1) ・PRや呼びかけができたか。 ・育成プログラム等の参加者数 2) ・地方選挙での結果 ・看護を応援する県議、市議、首長当選者数の把握</p>
<p>に基づく組織運営を行うために、総役員会でGW等情報共有し、組織力の強化を図る。 せ事項等を適宜見直し、安定的な運営に努める。 部課題を明確化し、支部規約の統一を図る。 :明確化する。 、総役員会、青年部委員会、広報委員会、機関誌編集委員会)の円滑かつ効率的な運営を行う。 動、選挙運動等の費目別に見極め、費用を効果的に運用し活動の活性化を図る。</p>	<p>1) ・新役員研修会、新入会者研修開催 2) ・役割分担に従って役割を果たす。 3) ・収支監査及び事業監査</p>
<p>塊で開催される「ブロック別合同会議」に県連盟会長と県看護協会会長とが参加し、 確保等の協力態勢について検討する。 長・連盟会長が相互に参加する。 県で開催される「ブロック別看護管理者等政策セミナー」に県看護協会会長及び役員の参加を促す。</p>	<p>1) ・看護協会理事及び会員の連盟入会比率の向上 ・看護職の投票率の向上 ・安全な選挙協力の実施</p>
<p>について検討し、有効な対策を実行する。 年3月末7,753人) 戦略」を作成し、上半期(9月)と下半期(3月)に目標達成状況を評価する。 加入者の多い施設の看護管理者との交流の機会を作る。 。目標値100% する。 に向けて、看護協会と検討し協力を得る。 入会を働きかける。 者に連盟入会と継続を働きかける「継続入会パンフレット」等を活用する。 への入会を勧める。 を働きかける。]を取り入れるよう働きかける。 看護政策や看護連盟について必要な情報を提供する。 に働きかけ、学生会員の入会を促進する。 基礎研修の在り方を検討する。 する。 交流会を企画する。 法に対する意見を収集し、課金システム検討プロジェクトに届ける。 有に向けて、クラウドの活用を協力する。 に向けた研修会に参加する。 、支部での活用を推進する。 会のオンライン化を促進する。 てSNS 戦略を推進する。</p>	<p>1) ・会員目標数8,600人 2) ・会員数の増加 ・県看護協会会員の連盟入会率を20% (全国平均23.7%) ・継続入会者数 ・賛助人員数 3) ・教員入会員数 ・看護教育機関における実績 ・学生入会員数 4) ・OB会の開催実績及びアンケート調査の結果</p>
<p>日本看護協会の政策情報等をタイムリーに各支部役員へ発信する。 生かした会員確保を検討し活動の強化につなげる。 の理解を深め実践につなげるために、対象別教育研修の標準化を検討する。 効果的・効率的な会議・研修を企画する。 入会員・未入会者層の研修や集会で活用する。</p>	<p>2) ・研修会運営実績 3) ・活動実績</p>
<p>を奨める。 会に参加する。 青年部委員会の活動状況を報告する。 同を開催し、若手会員の入会を促進する。 決定過程の理解を深める。 し、基礎研修講師を積極的に引き受ける。 う、効果的アプローチを検討する。 し、学生会員の入会を促進する。 ック内8県の青年部活動を共有する。 極的な参加を奨励する。</p>	<p>1) ・報告の実績 ・都道府県別会議受講者の把握(看護協会役員、青年部参加状況を確認) 2) ・会議、研修等の実績</p>
<p>を奨める。 会に参加する。 青年部委員会の活動状況を報告する。 同を開催し、若手会員の入会を促進する。 決定過程の理解を深める。 し、基礎研修講師を積極的に引き受ける。 う、効果的アプローチを検討する。 し、学生会員の入会を促進する。 ック内8県の青年部活動を共有する。 極的な参加を奨励する。</p>	<p>・各集会、研修会、協議会への参加者数及びアンケート調査の結果 ・若手会員、学生会員の入会促進、実績</p>
<p>編集活動の円滑化を図る。 針、具体策を検討し、広報活動を推進する。 、連盟活動及び政策提言活動等の情報を迅速に提供する。 「チャット」への投稿を推進する。 ビデオメッセージを上映する。 等活用、機関誌への掲載等を通し、国政における看護職議員の活動を報告する。 の学びから政治参画意識を高める。 議院選挙に向けての活動意識を強化する。 部役員役割を円滑に果たす。</p>	<p>・広報活動の状況 ・HPのアクセス数の増加</p>
<p>を奨める。 会に参加する。 青年部委員会の活動状況を報告する。 同を開催し、若手会員の入会を促進する。 決定過程の理解を深める。 し、基礎研修講師を積極的に引き受ける。 う、効果的アプローチを検討する。 し、学生会員の入会を促進する。 ック内8県の青年部活動を共有する。 極的な参加を奨励する。</p>	<p>・計画通りに実施できたか。</p>
<p>研修会等を行い、議員との交流を深める。 、地方議員による看護体験を企画・実施する。 交換を図る。 する。(1回/年)</p>	<p>・ブロック協議会内での課題の共有化</p>
<p>をつくる。 助会員への入会を勧める。 を更新し、連盟会員の福利厚生の一助とする。</p>	<p>・交流の機会が持てたか。 ・看護系要望団体役員の入会数の増加 ・賛助人員数の増加</p>
<p>速やかに伝え、被災地の現場の声を国会議員に届け支援協力を要請する。 速に行う。</p>	<p>・実施状況</p>
<p>への対応を行う。</p>	<p>・実施状況</p>
<p>選挙運動のための情報交換を行う。 に日本看護連盟へ情報提供し、専門家や顧問弁護士と相談し、速やかに解決する。</p>	<p>・選挙運動違反の防止、タイムリーな情報共有 ・規約、細則の見直しや組織運営上の諸問題の対応</p>

看護職議員活動報告

REPORT

いのち・くらし、いちばん!

衆議院議員 あべ 俊子



いつもご支援賜り、誠にありがとうございます。予算委員会も終わり、それぞれの委員会が動き始めました。今期は農林水産委員会で筆頭理事を務めています。年度末までの成立を目指す法案も審議段階にあり、円滑な委員会運営のために奔走する役目です。農林水産委員会では食糧安全保障や畜産農家支援など、日本の『食』を守るために議論をしています。牛乳・卵の値段が高くなったことにお気づきの方もいらっしゃるかと思いますが、牛乳・卵の値段の上昇は、畜産農家、養鶏農家の現状を反映するものです。ウクライナ危機によって輸入飼料が高騰し、そのコストが牛乳価格に転嫁されています。余剰ある中での価格上昇は、畜産農家にとっても苦渋の決断です。鳥インフルエンザによる卵の価格上昇など、生活に欠かせない食品価格の高騰は生活実感に直結する課題であり、政府からの支援が必要です。

看護の問題はもとより、国民のいのち・くらしに係る問題に真剣に取り組んで参ります。



日英21世紀委員会出席の報告



自民党国際協力調査会

ひとり一人が 自分らしく健やかな笑顔で

REPORT

衆議院議員 たかがい 恵美子



春陽の候、福岡県看護連盟の皆様には平素変わらず、看護政策の推進及び看護技術の普及向上にご尽力を賜り深く感謝申し上げます。国会では令和5年度予算審議に続いて今後、人生100年時代の社会保障制度について議論が本格化します。またパンデミックを経た今、生命の尊厳を重視した公共政策への関心が世界各地で急速に高まっています。いのちに寄り添いその生命力を守り支えるプロとして、看護職にはより大きな期待が集まります。ひとり一人が自分らしく健やかな笑顔で暮らせる未来を創るため、これからも現場最優先で、皆様とともに行動して参ります。

統一地方選もあり、地域課題の解決に向けた意見交換が活発になっています。綿密な情報収集と冷静な見極めで、着実に成果を出せるよう力を合わせて参りましょう。福岡県看護連盟の皆様のご健勝を願っております。



出雲看護専門学校



女性の生涯の健康に関するPTにて

REPORT

八女市議として12年のあゆみに感謝

八女市議会議員 萩尾 洋



コロナも徐々に収まりつつありますが、皆さんお元気でお過ごしのことと思います。

さて、今年度は統一地方選挙の年です。私は平成23年八女市議選で初当選し、3期12年が経ちました。この間、厚生常任委員として保健・医療・介護・環境問題等に積極的に取り組むと共に、少子高齢化対策や学校教育、特に校則(ブラック校則)の在り方について教育委員会と戦ってきました。

しかし、教育長は全て学校校長に責任転嫁し、教育指導が行き届かなかった事への反省が伺えません。私が思うには、教育長は学校の校長揚がりではダメですね。視野が狭い。学校側を擁護してしまいます。良い事は良い、悪いことは悪いと言える教育長であるべきだと思います。今後、八女市の教育問題に前向きに取り組む教育長が現れる事を祈るばかりです。

最後になりましたが、今限りで議員を勇退します。私が12年間市議会議員を全うできたのも、皆様方のご支援ご指導の賜物であり、私にとって大きな財産です。また、看護連盟の大きなバックアップがあってこそだと深く感謝申し上げます。

今後、一市民として行政と戦って行く所存ですので、皆様方の更なる御指導ご鞭撻を宜しくお願ひします。



2022年キラリ☆やめっ子サマーキャンプ

REPORT

看護職が報われる環境づくり

参議院議員 石田 まさひろ



福岡県看護連盟の皆様、日頃より多大なるご支援を賜りまして誠にありがとうございます。

自民党看護問題小委員会を開会し、令和5年度看護関係国家予算案の確認を行い、また、日本看護連盟・日本看護協会から「看護婦等の確保を推進するための措置に関する基本的な指針」の改定の要望が提出され、政府へ改定を要請しました。この指針は平成4年に策定されてから30年以上が経過しており、この間に、看護師を取り巻く環境は大きく変化し、例えば、いまだに指針に「看護婦」と書かれていることから、今の時代に即した指針とは言えなくなっています。看護師の確保推進という指針の目的を果たすには、時代に即した指針への改定が不可欠です。しっかり進めていきます。

看護職が「今日も良い看護ができた」と実感でき、看護職が報われる環境づくりのために、引き続き尽力して参ります。福岡県看護連盟益々のご発展と、会員の皆様のご健勝を心より祈念申し上げます。



岸田総理と面談



看護問題小委員会にて

現場の声を

REPORT

しっかりと制度や法律に反映

参議院議員 友納 理緒



コロナ禍、様々な局面で命と向き合い、看護を提供して下さっている皆さまに心より感謝申し上げます。

1月23日から第211回通常国会が始まり、厚生労働委員会の委員として、全世代型社会保障実現に向けた様々な法案の審議を行っています。昨年の臨時国会では、厚労委員会で2回(感染症法・障害者総合支援法改正について)、質問に立たせていただきましたが、今年は所属外の委員会でも、医療・看護に関する様々な問題について質問をする機会をいただいています。また、厚労分野のほか、働く女性の健康支援(産業保健)、こども政策、デジタル社会推進、防災DX等取り組む課題は多岐にわたります。看護の視点から、現場の声をしっかりと制度や法律に反映できるよう尽力いたします。

時代により変化する看護職の機能や役割を現場の皆さまが適切に果たし、その専門性を発揮できるよう努めて参ります。引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。



中央政治大学院 講演



厚労委員会質問

REPORT

未来の医療従事者たち

那珂川市議会議員 ひじ 英治



地域の小学校にあるおやじの会が、感染対策を施した上で職業人講話を開催し、保護者の皆さんに交じって、私も看護師の講師として参加させていただきました。小学校低学年の子供たちにもわかるように看護の仕事伝えるため、心臓や肺などの臓器の説明をする際には、臓器のイラストを自分の体に貼り付けるようにして位置を確認できるようにしました。また、脈拍測定や聴診器による心音の聴診、パルスオキシメーターでの動脈血酸素飽和度測定などを行い、ほんの少しですが看護の仕事を経験してもらえました。人材不足が叫ばれる医療業界ですが、子どもたちにも看護の仕事に興味を持ってもらい、看護師が少しでも増えることを願っています。



小学校での職業人講話

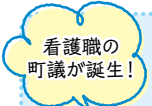


統一地方選挙結果

統一地方選挙で福岡県看護連盟が応援し、見事、当選された方々

福岡県議会議員 (当選回数順) 表紙の写真と併せてご覧ください

中村 明彦(小倉北区)、藏内 勇夫(筑後市)、今林 久(東区)、井上 忠敏(小郡市・三井郡)、加地 邦雄(南区)、長 裕海(東区)、原口 剣生(久留米市・うきは市)、松本 國寛(遠賀郡)、松尾 統章(八幡西区)、井上 順吾(大野城市)、江藤 秀之(飯塚市・嘉穂郡)、中尾 正幸(若松区)、吉松 源昭(糟屋郡)、樋口 明(南区)、秋田 章二(大川市・三潞郡)、大島 道人(田川郡)、野原 隆士(西区)、中牟田 伸二(春日市)、桐明 和久(八女市・八女郡)、神崎 聡(田川郡)、板橋 聡(みやま市)、香原 勝司(直方市)、川端 耕一(門司区)、西元 健(築上郡・豊前市)、吉村 悠(小倉南区)、井上 博行(博多区)、浦 伊三夫(糸島市)、渡辺 勝将(那珂川市)、江頭 祥一(嘉麻市)、吉田 浩一(福津市)、井上 正文(宗像市)、大田 満(早良区)、吉田 健一郎(古賀市)、笠 和彦(中央区)、高橋 義彦(飯塚市・嘉穂郡)、花田 尚彦(宮若市・鞍手郡)、宮原 伸一(太宰府市)、林 泰輔(朝倉市・朝倉郡)、小緑 貴吏(戸畑区)、波多江 祐介(筑紫野市)、宮川 宗一郎(城南区)



看護職の
町議が誕生!

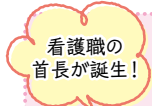
遠賀町議会議員

野口 久美子

【看護師・保健師】



このたび、遠賀町町議選挙で初当選しました。身近な地方自治の議員として、子育て支援、高齢者に住みやすい街づくりを目指して頑張ります。



看護職の
首長が誕生!

東京都江東区長

木村 弥生

【前衆議院議員 看護師・保健師】



このたび東京都江東区の区長に当選しました。53万人の自治体の首長です。看護職が行政のトップになったら、まちがどう変わるのか。ご期待ください。

2022年度・第2回

都道府県看護連盟会長・副会長・幹事長・支部長合同会議に参加して

2023年1月26日【木】東京プリンスホテルに於いて都道府県看護連盟会長・副会長・幹事長・支部長合同会議に参加させて頂きました。内容として①看護協会との連携協力について②自民党県連、地方議員との連携について③青年層、OB層との活動について④投票行動促進、期日前投票の推進、投票確認等について⑤インターネットやSNSの活動推進について⑥その他〔後援会名簿〕〔選挙用はがき〕〔電話作戦〕〔街宣車運行計画〕以上について事前に各都道府県別会議を実施し各県で集約した内容を総括され報告・説明が行われました。また、都道府県別会議の討議内容を踏まえた問題点、課題が提示され、今後の選挙戦に繋げて行くためにも、各県で討議の必要性を感じまし



筑後1-5支部 支部長 岩橋 とよこ

た。今回の参議院選挙を振り返り、候補者決定に至るまでの過程でいったい何が起きているのか、会員にどう説明してよいのか困惑し悶々とした日々を送りました。候補者が決定してからは会長の指示の下、一致団結し当選にもっていくよう選挙活動を行いました。看護連盟と政治の関係は重要で今後私たちが楽しく、やりがいのある選挙活動を行うためにも現場の声を聞きながら熱伝導で一步一步前進し、コロナ禍で思うようにできなかった活動を再開しながら一人でも会員増に繋げるよう行動していきたいと思いました。



入会のご案内

会員のあなたが会員を増やしましょう!

それが「看護連盟の力!!」あなたの力が連盟活動を支えます

看護連盟は看護職代表を国政の場に送り、看護と国民の健康・福祉の問題解決を推進しています。

連盟本部 5,000円

+

福岡県連盟 2,500円

= 年会費 7,500円

随時
受付中!

福岡県看護連盟

☎(092)631-1162 FAX(092)631-1164
kangorenmei-fukuoka@ace.ocn.ne.jp

●ホームページも是非ご覧ください!●
<http://www.fukukanren.jp/>

福岡県看護連盟

検索

賛助会員・
OB会員募集

年会費
1,000円

学生会員募集

会費
無料

保健師、助産師、看護師または准看護師の資格を得るために就学している学生で、看護連盟の主旨に賛同いただける方を対象としています。ご入会いただきました学生会員の方には、日本看護連盟の広報誌やメールマガジンをお届けいたします。



第10回 ポリナビワークショップin福岡 ハイブリットで開催!!!

令和5年2月11日(土)、ナースプラザ福岡の研修ホールで開催された「第10回ポリナビワークショップin福岡」に参加しました。新型コロナウイルスの影響で集合しての研修もままならない状況の中、本年度はようやくハイブリットではありますが会場での受講も可能となり、会場一般参加者6名、関係者19名、リモート参加者52名、トータル70名以上の参加でした。

まずは、酒井青年部委員長より開会の挨拶が行われた後、福岡県看護連盟久富幹事より挨拶が行われ昨年の参議院議員選挙での「とものお議員」の初当選お礼を述べられました。続いて、初当選された「とものお議員」のメッセージビデオが放映されました。ポリナビ開催のお祝いと議員としての公務について語られました。現在は、看護師の賃金を引き上げる活動や労働環境を整える活動が行われているようです。引き続き応援していきましょう。

講演Ⅰ 基礎研修は、眞秀青年部幹事より行われ耳に心地よい声で看護協会や看護連盟の歴史・役割をはじめ、看護と政治の大切さについて学ぶことが出来ました。耳に心地よい声に親しみが持てました。

この研修のメインイベントである講演Ⅱ「認定看護師が教えます!口腔ケア・誤嚥性肺炎予防」は、青年部幹事でもあり摂食嚥



青年部幹事
仁田原 重政

下障害看護認定看護師の中村将隆先生をお招きしての講演でした。表題の通り口腔ケア、誤嚥性肺炎の予防について動画や本人をモデルにして詳しく教えていただきました。今回の質疑応答はチャット形式を使って行われましたが、会場からも活発な質問がありました。講義の最後に認定看護師について説明がありました。認定としての役割や患者さんとの関わりや経験談などを聞く中で、「患者さんの人生の最後のその時まで寄り添う看護を行いたい」と言う言葉にとっても感動と共感を覚えました。改めて看護の奥深さ素晴らしいさに気づけた講演会だったと思います。



講師の声



摂食・嚥下障害看護認定 看護師 青年部幹事 中村将隆

今回ポリナビワークショップにて「口腔ケア・誤嚥性肺炎予防」について講演をさせていただきました。

今回の講義では特に誤嚥性肺炎予防として「口腔ケア」に焦点を当ててお伝えさせていただきました。

誤嚥性肺炎については感染源対策、感染経路対策、宿主対策と3種類の対策があります。

口腔ケアを行うことによってバイオフィームが除去され感染源対策に繋がり、また口腔内を刺激することで嚥下機能が改善し感染経路対策、そして味覚や食思が改善することで抵抗力は向上し、宿主対策へと繋がります。従って口腔ケアは看護師が行うケアの中でも誤嚥性肺炎対策には特に重要となっています。誤嚥性肺炎によって苦しむ方が一人でも減ることを願っております。



誤嚥性肺炎の発生機序



誤嚥性肺炎の原因



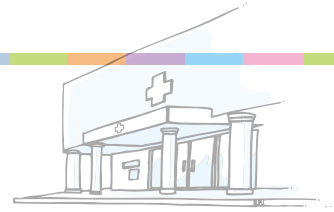
誤嚥性肺炎対策

3種類の対策

- 感染源対策
- 感染経路対策
- 宿主対策

口腔ケアの効果

- バイオフィーム除去 → 感染源対策
- 口腔内消毒 → 感染経路対策
- 唾液改善 → 宿主対策



22支部リレー紹介

私たちの支部

筑後1-1支部

支部長 岡田 晃代

筑後1-1支部は、久留米大学病院と、久留米大学看護学科の2施設で構成されています。

令和4年度の会員数1042名、役員10名で活動をしています。看護と政治・政策の結びつきを、会員や非会員が理解できるようにわかりやすく楽しい研修を企画し、看護連盟活動を広めています。コロナ禍で行動が制限される中、同施設内で月に1回役員会議を開催し、役職の垣根を超えた顔の見える関係を築き、知恵を出し合いながら「今できる最善」を考えYouTubeを活用した支部研修を企画していました。

また、昨年の第26回参議院議員選挙においては、支部内での公な活動が困難な状態で、10名の役員は草の根活動を実施し、それが連盟会員の投票行動へ繋がったと思います。

コロナで疲弊していた医療現場が、今年5月に2類から5類

へ変更され、どのような混乱が起こるのか予測できません。私達は、変化に柔軟に対応できるよう現場の疲弊を最小限に食い止めることができるように、現場の声を国政に届けるよう努めていかなければならないと使命感を持っています。



筑後1-2支部

支部長 古賀 江美

筑後1-2支部は久留米大学医療センターの1施設であり、会員数145名、そのうち役員4名、青年部1名、連絡員7名で活動しております。2022年4月より支部長代理、7月より支部長として交代致しました。「届けよう看護の声を!私たちの未来へ」のスローガンを支部長として役割が果たせるように活動していきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひ致します。

2022年度もコロナ禍により、自施設での連盟活動が難しい状況ではあったものの、5月の基礎研修では新人看護師や未介入者に向けて活動をした結果、前年度より会員数を約4%増やすことができました。また、支部会議ではコロナ感染状況に応じてオンラインを活用し、第26回参議院選挙に向けて役員や青年部、連絡員と協働して投票行動を促す活動に取り組み、実施することができました。

2023年度はコロナ感染対策の緩和に伴い、自施設におい

ても本来の連盟活動ができることが予測されます。2022年度に活動できなかった支部研修や会議を積極的に開催し、連盟活動情報の発信や会員数拡大に向けて取り組んでいきたいと思ひます。



編集後記

統一地方選挙2023では、福岡県看護連盟のみんなの心を結集して、旗をふり精一杯応援しました。今回の表紙は、見事に当選された福岡県議会議員の皆様のご活躍が、看護の未来の輝きになることを期待して作成しました。また、今回の選挙では、看護職の女性議員が誕生し、頼もしい看護の力を感じました。(福岡県遠賀町野口久美子議員、東京都江東区木村弥生区長)

さて、7月2日(日)に福岡県看護連盟通常総会を、国会議員、福岡県知事、県議会議員など多くの来賓の方々をお招きして開催します。福岡県看護連盟会員の皆様と、貴重な意見を交わし合い、令和5年度を、お互いにしっかりと協力して、強く踏み出す力にしていきましょう。

(編集長 羽江 和子)

